

令和2年度 第2回 学校評価アンケート集計表(まとめ)

「4:あてはまる」「3:ややあてはまる」「2:あまりあてはまらない」「1:あてはまらない」

項 目		職員	生徒	保護者	地域	平均
学 校	1 学校が力を入れて取り組んでいる内容を知っている。	3.58	2.96	3.13	2.60	3.07
	2 学校の指導方針は、生徒を育てるために有効で共感できる。	3.67	3.20	3.34	3.25	3.37
	3 学校は、生徒や地域の特性に合わせて、特色ある教育活動を行っている。	3.83	3.38	3.53	3.25	3.50
	4 学校だよりや各種通信、ホームページなどで学校の様子がよくわかる。	3.58	3.04	3.28	2.60	3.13
	5 学校は、地域と協力しながら生徒を育てる活動を行っている。	3.42	3.18	3.49	3.20	3.32
	6 学校は、生徒の安全に気を配っている。	3.83	3.49	3.31		3.55
	7 学校は、整理整頓や掃除が行き届き、学習するための環境が整っている。	3.25	3.18	3.45		3.29
	8 学校では、人としての尊厳と責務を重んじる教育が行われている。	3.83	3.39	3.35		3.53
生 徒	9 生徒は、挨拶や正しい言葉遣いがきちんとできている。	3.17	3.05	3.16	3.75	3.28
	10 生徒は、時間を守って行動している。	3.58	3.16	3.10	3.67	3.38
	11 生徒は、好ましい友人関係があり、楽しく登校している。	3.33	3.46	3.41	3.25	3.36
	12 生徒は、学校行事に積極的に参加している。	3.75	3.23	3.46		3.48
	13 生徒は、毎日の家庭学習の習慣が身についている。	2.92	3.21	3.07		3.06
	14 生徒は、部活動に意欲的に取り組んでいる。	3.25	3.05	3.30	3.25	3.21
	15 生徒は、配布物等はきちんと保護者に渡している。	3.00	3.26	3.00		3.09
教 師	16 教師は、わかりやすい授業を行っている。	2.89	3.43	3.29		3.21
	17 教師は、授業中にじっくり考えたり発表したりする活動を行っている	3.44	3.51	3.42		3.46
	18 教師は、授業内容についての質問等に親切に答えている。	3.44	3.53	3.43		3.47
	19 教師は、生徒に対して公平・公正に接している。	3.40	3.27	3.32		3.33
	20 教師は、生徒の誤った言動をきちんと指導している。	3.50	3.46	3.35		3.44
	21 教師は、進路についての授業や指導をしている。	3.22	3.32	3.43		3.32
	22 教師は、家庭との連絡を適切に行っている。	3.00	3.32	3.40		3.24
	23 教師は、生徒の悩みや相談に対して丁寧に応じている。	3.30	3.32	3.38		3.33
	24 教師は、地域やPTAの行事等に参加している	2.55	3.23	3.35	3.00	3.03
保 護 者	25 保護者は、授業参観や学校行事に参加している。	3.10	3.22	3.10	3.00	3.10
	26 家庭で、学校の出来事等の話をする機会がある。	3.29	3.22	3.27		3.26
	27 家庭で、携帯電話やスマートフォンの使い方についてルールを作っている。	2.57	2.72	3.21	2.67	2.79

結果の考察

成果

項目3の結果から、学校は、生徒や地域の特性に合わせて、特色ある教育活動を行っていることがわかる。

項目6の結果から、学校では安全に配慮した取り組みが行われていることがわかる。

項目8の結果から、学校で人権を意識した教育が行われていることがわかる。

項目12の結果から、生徒は、学校行事に積極的に参加していることがわかる。

項目17の結果から、授業中に生徒の思考力を育てる活動が行われていることがわかる。

項目18の結果から、教師が授業内容についての質問等に親切に答えていることがわかる。

課題

・項目1の生徒、地域の結果から、学校が力を入れて行っている取組の周知が徹底できていないことがわかる。

・項目4の生徒、地域の結果から、HP、学校だより等での教育方針の有効性や学校の情報発信が不十分であることがわかる。

今後の取組：集会等での生徒への周知を行う。学校だより、HP、学級通信での情報発信の強化を行う。

項目9の職員、保護者、生徒の結果から、あいさつや礼儀に関する指導が不十分であることが分かる。また、地域の結果が高いことから、特に校内におけるあいさつの指導を徹底する必要があることがわかる。

今後の取組

生徒会活動の専門委員会を中心に、挨拶に関する生徒の自治活動を強化する。教師が、生徒の挨拶を積極的に褒める。

・項目13の結果から、家庭学習の習慣化がなされていないことがわかる。

今後の取組

集会等での生徒への周知、学校だより、HPでの情報発信の強化を行う。

項目16の職員の結果から、職員が、「より良い授業づくりが行えていない」と感じていることがわかる。

今後の取組

校内研究などで、職員の授業改善、スキルアップを図る機会を設定し、授業力の向上を図る。

項目22の職員の結果から、職員が家庭での連絡を十分に取れていないと感じていることがわかる。

今後の取組

学級通信などで、普段の学級、生徒の様子を家庭に伝える。欠席連絡だけでなく、普段の様子を電話等で家庭に連絡する機会を積極的に作る。

項目24の職員、生徒の結果から、職員の地域・PAT行事への参加が不十分であることがわかる。

今後の取組

職員に対する、地域行事、PTA行事の積極的な紹介を行い、参加を促す。

項目27の結果から、家庭での携帯電話等の利用のルール作りが不十分であることがわかる。

今後の取組

集会、懇談会等、学校行事など、保護者が集まる機会を利用して、スマホ利用のルール作りの重要性や具体的なルールの例の説明を行う。また、保護者、生徒を対象に専門家によるメディア講習会を行う。